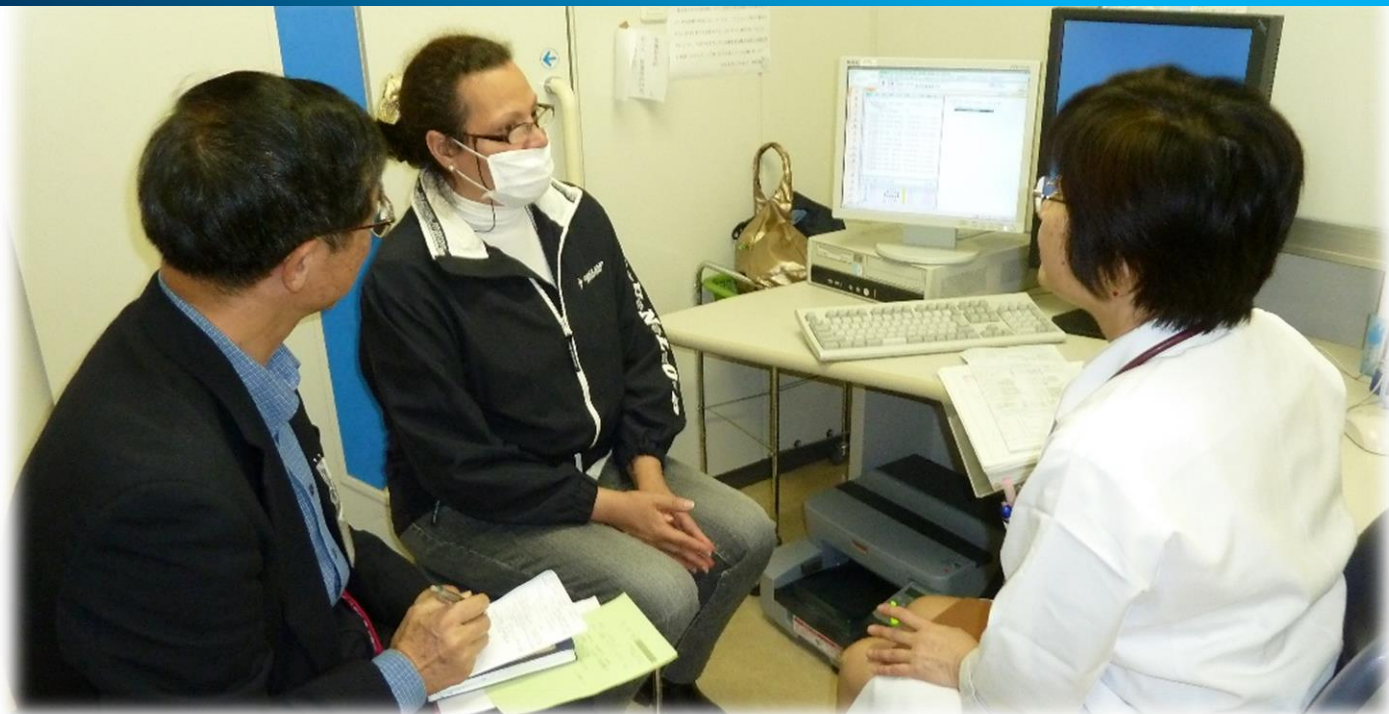




# 大阪大学 中之島センター

# 医療通訳 養成コース



厚生労働省「医療機関における外国人患者受入環境整備事業」で作成された「医療通訳育成カリキュラム基準」に基づき、医療機関で雇用される医療通訳者を養成するコースです。医療機関で通訳を行う専門職として必要な「知識・技術・姿勢」を身につけます。

## 2015年4月 ▶ 2016年3月

1限目 13:30~15:00 2限目 15:20~16:50 会場 大阪大学 中之島センター

★講座開催日…主に土曜日の午後(詳細はホームページ参照)

**[募集] 英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語 計30名程度**

※受講者が少ない言語は、開講できないこともあります

**[対象]** ・原則20歳以上

- ・ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)におけるB2以上 ※右枠参照
- ・母語において、大学入学程度の語学力と高校卒業程度の知識がある方
- ・母語、対象言語の国や地域における習慣、社会常識を理解している方
- ・文化や社会において異なる価値観を認めることができる方
- ・医療機関利用者に対して敬意を持ち、コミュニケーションを図ることができる方

**[受講方法]** 受講には受講テストをお受けください。(テスト受験料2,000円 税別)

**申込締切** 2015年4月6日(月) 受講テスト 2015年4月11日(土)、12日(日)

**[テキストと資料作成費]** ※Ⅱの受講にはⅠの受講が必須です。※実習料金別途

182,000円(税別)医療通訳研修Ⅰ・Ⅱの一括払いの場合

91,000円(税別)医療通訳研修Ⅰ・Ⅱを単独受講・分割支払いの場合



**各言語別学習能力試験  
『CEFRにおけるB2以上』の目安**

中国語 HSK4級

英語 TOEFL iBt87-109

TOEIC Listening400以上  
Reading385以上

ポルトガル語 中級

CELPE-Bras Intermediário Superior,  
CAPLE DIPLE

スペイン語 DELE B2

日本語能力試験 N1

※上記の試験資格は必須ではありませんが、  
上記に相当する語学力が必要です。

**申込** <http://conso-kansai.or.jp/interpreter/index.html>

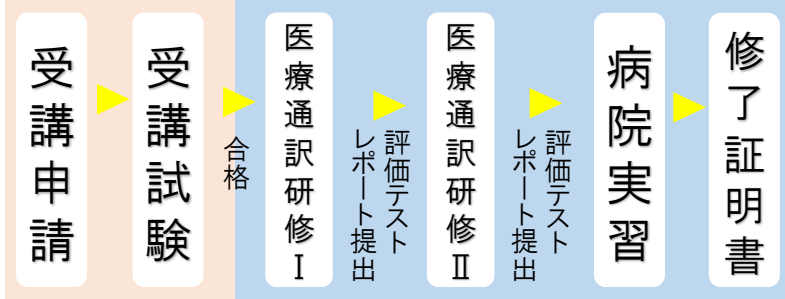
※入力フォームより申込

**主催** 大阪大学大学院医学系研究科 国際・未来医療学講座

**共催** 多文化共生センターきょうと/コンソーシアム関西/りんくう国際医療通訳翻訳協会(IMEDIATA)/りんくう総合医療センター

**後援** 一般財団法人日本医療教育財団

## 専門医療通訳者養成コースの流れ



※ 受講試験、評価テストは「医療通訳育成カリキュラム基準」に準拠しています。医療通訳育成カリキュラム基準の全過程を終了するためには「医療通訳研修Ⅰ/Ⅱ」の修了証明を取得した後「病院実習」が必要です。医療通訳研修Ⅰのみを受講の場合は「医療通訳研修Ⅰ」の修了証明書を発行します。



### 医療通訳育成カリキュラム基準

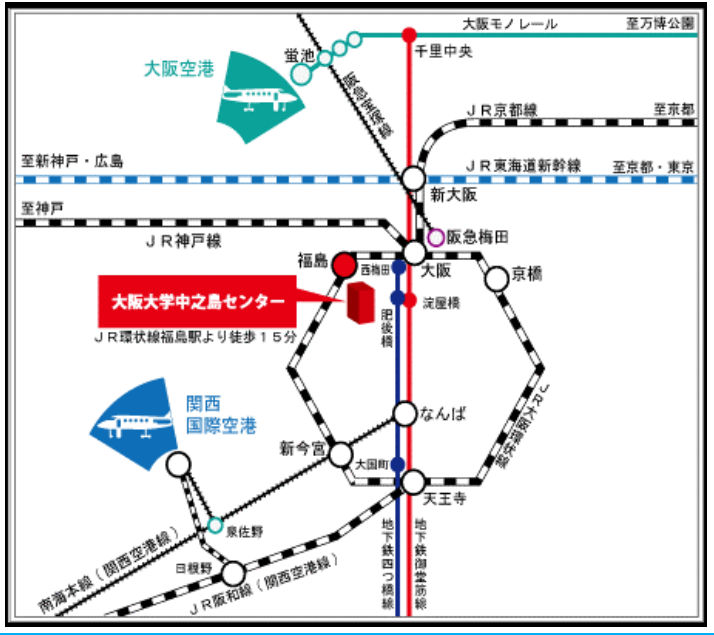
医療通訳育成の指針となる「医療通訳育成カリキュラム基準」と「医療通訳テキスト」は、厚生労働省が進める「医療機関における外国人患者受入環境整備事業」の一環として2013年に作成されたものです。これらは、医療機関における一定の能力と質を有した専門職としての医療通訳者の養成を目的としています。

医療通訳研修Ⅰ 全13日間 39時間	時間数
言語プロフィール(自身の言語能力の把握、用語集の作成方法)	3
医療通訳者の役割(医療通訳について基礎概念や知識)	1.5
専門職としての意識と責任(医療通訳者として遵守すべき倫理)	4.5
通訳に必要な通訳技術Ⅰ(逐次通訳とは/通訳トレーニング①)	3
身体の仕組みと疾患の基礎知識	1.5
呼吸器の基礎知識	1.5
消化器の基礎知識	1.5
循環器の基礎知識	1.5
腎泌尿器と内分泌・代謝系器官の基礎知識	1.5
産婦人科領域の基礎知識	1.5
小児科領域の基礎知識	1.5
精神と脳、神経系の基礎知識	1.5
筋・骨格系の基礎知識	1.5
薬に関する基礎知識	1.5
検査に関する基礎知識	3
眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の基礎知識	1.5
感染症に関する基礎知識	1.5
通訳に必要な通訳技術Ⅰ(語彙力・通訳技術の確認)	3
通訳に必要な通訳技術Ⅰ(用語集の確認・作り方の指導・共有)	1.5
修了評価テスト	1.5

医療通訳研修Ⅱ 全13日間 39時間	時間数
日本の医療制度に関する基礎知識 医療制度	3
日本の医療制度に関する基礎知識 医療保障制度	3
医療通訳者の自己管理(健康管理・心の管理)	1.5
通訳に必要な通訳技術Ⅱ(用語の確認)	1.5
通訳に必要な通訳技術Ⅱ(通訳トレーニングの復習)	1.5
通訳に必要な通訳技術Ⅱ(ノートテイク)	1.5
通訳に必要な通訳技術Ⅱ(模擬通訳)	3
医療従事者と患者の文化的および社会的背景についての理解	3
医療通訳者のコミュニケーション力(異文化コミュニケーション、対人コミュニケーション)	3
医療通訳者のコミュニケーション力(文化仲介、権利擁護)	3
通訳実技(通訳業務の流れとその対応、通訳者の立ち位置とその影響)	1.5
通訳実技(情報の収集方法、非言語コミュニケーションの応用)	1.5
通訳実技 場面別模擬通訳(科目問診、診察科、検査、状況別)①	3
通訳実技 場面別模擬通訳(科目問診、診察科、検査、状況別)②	3
通訳実技 場面別模擬通訳(科目問診、診察科、検査、状況別)③	3
レポート作成	1.5
修了評価試験	1.5

### 通訳教育、医療専門家による充実の講師陣(予定)

- 南谷 かおり** 大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授
- 重野 亜久里** 多文化共生センターきょうと 理事長
- 染谷 泰正** 関西大学外国語学部・外国語教育学研究科 教授
- 野中 モニカ** ポルトガル語通訳者 天理大学国際学部外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻 准教授
- 古川 雅代** 神戸松蔭女子学院大学 准教授/インタグループ会議通訳者
- 小西 咲子** スペイン語通訳者
- 金 静愛** 国際会議通訳者



### 【会場】大阪大学 中之島センター

- 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53
- JR 環状線 福島駅より徒歩15分/東西線 新福島駅から徒歩9分
  - 地下鉄 御堂筋線「淀屋橋」駅より徒歩16分  
四つ橋線「肥後橋」駅より徒歩10分
  - 京阪電車 中之島線「中之島」駅より徒歩5分
- ※詳細地図は「大阪大学 中之島センター」サイトのアクセスマップよりダウンロードできます。

### 【大阪大学医学部附属病院 国際医療センターの取り組み】

本センターでは大阪大学医学部附属病院の進んだ医療を求める外国人患者及び医療従事者研修者の受け入れなどのインバウンド、そして日本の優れた医薬品、医療機器、医療サービスの海外展開のアウトバンドを進めています。また医療のグローバル化に伴う人材教育と研究を行っています。

### 【問い合わせ】大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 TEL. 06-6210-8302 FAX. 06-6210-8303 info@cgh.med.osaka-u.ac.jp